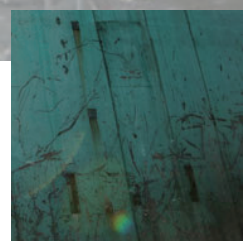
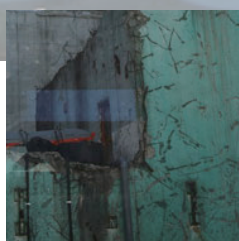
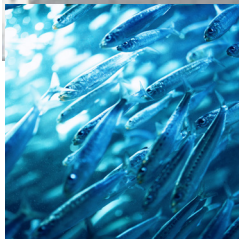


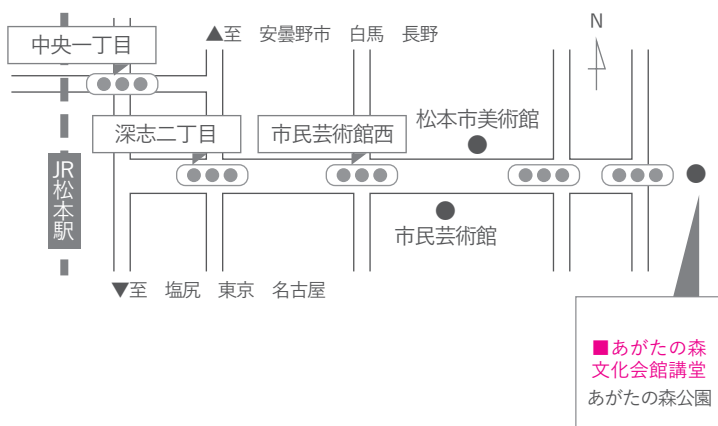
私は十代後半で、原子力に夢を
 かけました。そして、原子核工学
 科をわざわざ選んで大学に入りま
 した。
 しかし、私が原子力にかけた夢
 はことごとく誤りでした。原子力
 発電所が安全でないことは、残念
 ながら二〇一一年三月十
 一日に起きた福島第一原
 子力発電所事故で事実を
 もって示されました。原
 子力が未来のエネルギー
 源にはならないこと、安
 価でもないこともすでに
 分かっています。その上、
 原子力を利用することで
 生み出す核のゴミの始末
 の仕方すら知らず、未来
 永劫、子どもたちに押し
 付けるしかありません。
 その上、日本で「原子力」
 と呼ばれるものは「核」と同じで
 す。平和で穏やかな世界を築こう
 とするのであれば、原子力はその
 対極にあります。
 若い人たちが誤った選択をせ
 ず、未来を築いていくためには、
 まずは事実を知ることが大切だと
 私は思います。

未来を築いていくためには、
 まずは事実を知ること



Access -会場までのマップ-

JR 松本駅より徒歩 15分



Profile -プロフィール-

《小出 裕章 Koide Hiroaki》

1949年東京都生まれ。1968年に原子力平和利用の夢を抱いて東北大学工学部原子核工学科に入学するが、女川原発の建設計画で原子力発電の危険性に気づき、以後一貫して反原発の立場から研究と発言を行う。元京都大学原子炉実験所助教。2015年3月に定年退職し、松本市に移住。著書「原発と日本人～自分を売らない思想（角川学芸出版）」では、「私たち一人ひとりがしっかりと知識をつけ、自分で判断できるようになる必要がある。『自分は騙されていた』という言い訳は通用しません。・・・(省略)・・・これまでもそうでしたが、これからはさらに騙されないようにする責任が、市民一人ひとりにある」と述べている。(写真撮影：松岡広樹)



Information -最新情報はこちら-

<http://7colors.org/nw/>